

2015 2/10

No.1988

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



二宮町の吾妻山公園で菜の花が見頃を迎えている。頂上（136・2[㍎]）の西側斜面に広がる約4万5千株の黄色いじゅうたんや、天候に恵まれれば、丹沢山塊や富士山、相模湾なども楽しめる。2月上旬までがピークという。



contents

| | |
|--------------------------------|----|
| 視点・点描 | 3 |
| 「苦手」な言葉に囲まれて | |
| 政治 | 4 |
| 持続可能な社会保障制度に 産業構造を転換し生産性向上を | |
| 社会 | 6 |
| 外国人観光客を地方へ誘導 「地方創生」と一石二鳥狙う | |
| くらし2015 | 8 |
| 睡眠薬依存をなくそう | |
| 広告珍談 | 10 |
| うまい物もろもろ⑦ どこに売ってるの？ | |
| NNAアジア経済レポート | 11 |
| 第1回かながわスポーツ懇話会講演録 | 12 |
| 「ぶれないチームづくり」 湘南ベルマーレ監督 曹 貴裁 | |
| 会員のページ | 14 |
| 設立50周年は来年4月に（その8）役員① | |
| 会員のページ | 15 |
| 設立50周年は来年4月に（その8）役員① | |

事務局だより

◇横浜定例講演会

2015年2月9日（月）

13時30分～15時

新横浜プリンスホテル 3階

「セレナーデ」

講師はダイヤ精機株式会社代表取締役の 諏訪 貴子 氏

演題は「中小企業の経営改革と人材確保・育成」

◇横浜定例講演会

2015年3月11日（水）

富士ゼロックス神奈川株式会社と共催

ホテル、ニューグランド

「レインボーボールルーム」

▽基調講演 15時30分～16

時30分。講師はクラウドワー

クス代表取締役社長の吉田

浩一郎氏、演題は「企業のあ

り方を変える“クラウドソー

シング」

▽特別講演 16時40分～17

時40分。講師はサッカー解

説者の中西 哲生氏、演題は

「キャプテンマークをつける意

味～チームに与える影響力～」

▽懇親会「神奈川情報交流会」

17時50分～19時30分、「ペ

リー来航の間」

視点 点描



「苦手」な言葉に囲まれて

言っていること、していること

は「良いこと」なのだろうが、どうにも落ち着かない、できれば近づきたくない—そんな風に思う事柄や言葉が多くなった。一言でいえば、苦手、なのだ。

例えば、「感動」。1月下旬に表彰式が行われた「いのちの授業」大賞は、県内の学校で行われた「いのちの大切さ」や「他人への思いやり」を学ぶ授業を受けて感じた

ことを子どもたちが作文に書き、

それを審査するというもの。募集ちらしのうたい文句は、「私、いのちを学びました！」…略…：かながわ『いのちの授業』感動作文募集！。入賞作品はそれぞれに

力作で、読めば素直に感動はするのだけれど、その感動に「優秀」をつけて表彰するのは、ためらわれる。この賞は、作文を書いた子だけでなくその授業を行った人

(教員に限らない)も表彰するの
が特徴でもあるが、そのときの授
業内容がすぐさま感動につながる
ことを性急に期待していなければ
いいな、というのは、余計なお世
話だろうか。

例えば、「元気」。昨年から参
加している「かながわ元気な学校
ネットワーク推進会議」は、地域
もまきこんで「元気な学校づくり」
を応援しようという集まり。思わ
ず「学校って、元気じゃなきゃい
けないんですか？」と尋ねたら、

「元気という言葉にひっかかる人、
多いんですよ」といなされた。
自分は疲れているのにと思う人が
多いのか。子どもは元気はつら
つという型にはめて、安心した
いだけなのかもしれない。
例えば、「ビブリオバトル」。そ
れぞれのお薦め本を紹介して、よ
り多くの人に「読みたい」と思わ

せた人が勝ち、という一種の書評
ゲーム。「本を読むきっかけにし
てほしい」と図書館などで行われ
ているが、「なんでわざわざ闘い
(バトル)にするのかなあ」と根っ
からの本好き人間は、一歩も二歩
もひいてしまう。興味のない人に
アピールするためにゲーム感覚
で、という論理は分かるが、それ
だけで終わってほしくないとい
うこだわりが捨てきれない。

正論だし、やっている人は頑
張っているし、傍観者がどうこう
いう筋合いではないだろう、でも
なんとなく違和感がある—そんな
「苦手」な言葉が日々増えていく。
どうしたらいいか分からないけ
ど、「私は、実はこれが苦手なんだ」
という意識は、大切にされた方がよ
さそうだと思うこのごろ。
(神奈川新聞社教育担当部長
青木 幸恵)

どこに売ってるの？

この広告を見たとき、クルマと
思った。よく読んでみるとビー
ルの広告だった。なにしろこのイ
ラスト、当時はやっていた服装な
ど、うまくとらえてみごとである。

バーも後席の紳士も、のぞきこむ
ように飲みた
そう。コピー
は「自動車を
止めたるビー
ル」「エビス
ビール」の好
評」としめた。

ニッカーボッカーにハンティング
の青年が、マウンテンバイク風
でやってきた。と、牧場があった。
柵にのぼってクククーと、ビール
がノドにしみる。そこへ土ほこり
を巻きあげてオープンカーが、キ
キーと止まった。パリッときめこ
んだ3人の殿方。

この広告が
掲載された1
908（明治
41）年、警察
官と消防官の
制服が制定さ
れた。イラス
トのお巡りさ
んは、新しいユニフォームだろう。

「モシモシ そのビールは何処
で御買いになりましたか」と、メ
ガネにヒゲの紳士。

おなじ年、エビスビール（本誌
1938号をどうぞ）は広告自動
車を走らせた。T型フォードのよ
のつけた奇抜な発想。おそらくわ

「これでですか、これは貴下の自
動車の走るところ、どこでも売っ
ております。評判のビールですも
の」と、青年はこたえた。ドライ

うな車体に、大きな白いボックス。
「KIRIN BEER キリン
ビール」と、総代理店の「株式会
社明治屋」と黒く書かれて、ナン
バープレート「1」は、警視庁
の登録番号
が第1号
（第2号は
森永）で
あった。舗
装もない山
道も走った
1号車は、
ナンバーワ
ン自動車と
呼ばれて、
スコットラ
ンドはアー
ガイル社製
の4気筒・

15馬力であった。
つぎのキリンビール宣伝カー
は、でっかいビール瓶を横にして
のつけた奇抜な発想。おそらくわ

が国初の仮装自動車だろう。看板
屋がつくったビール瓶は重すぎ
て、九段坂が登れず失格。つぎは
ズック地の張りぼてに、白ペンキ
仕上げ。ビールを配達しながら走
りまわって、注目をあつめた。あ
の自宅にはビールがとどいたと、
近所の羨望のまなざし。
あまり人目をひくからか、警視
庁からおとがめがあった。ビール
瓶の先つちよをちよん切れ！細
長い部分がなくなると、牛乳ビン
のごとし。警笛もい音だと、消
防署に召し上げられた。それでも、
彼はけなげに走った。
「日夕帝都を縦横に奔馳して、
顧客の命を伺いつつある我キリ
ンビールの自動車は今度、東北地
方顧客諸君を訪問すべく、日数三
十六日の大旅行を試みたり」とキ
リンビールの社史にある。
（美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住）
（図）エビスビールの新聞広告・
1908（明治41）年掲載

